



次のステップへ

園長 河原 宏子

早いもので、もう3月になります。2月の生活発表会を経験してから、子供たちはどの子も大きな自信が身に付いています。次のステップへと向かう構えが出来上がってきたのを感じる毎日です。ゆり組はすみれ組に教えてもらいながら、誕生会の司会の言葉を上手に言えるようになっていきます。もうすぐすみれ組になると思う気持ちが、一つ一つの行動に表れています。そして、ゆり組に当番のやり方を教えているすみれ組の子供たちは、優しく丁寧に分かるように教えており、その立派な姿に目を見張るものがあります。年長と年少のペアで行った「上野動物公園お別れ遠足」においても、すみれ組がゆり組をリードし、会話が弾みながらも気遣う姿が見られました。こうして一つ下の学年の子供たちにしてあげられることをしようとする姿には、胸を打たれます。

緑幼稚園の子供たちが「人との関わり」を様々な形で経験していく中で、感性豊かな人間となる土台作りをしていることの手応えを感じる3月です。すみれ組は、残り12日で修了式です。そしてゆり組は、14日で終業式を迎えます。

幼稚園が大好きで、友達が大好きで、自分が大好き、こんな子供たちが心をつなげて、緑幼稚園での生活を豊かな感性であふれさせ、心を込めて締めくくりに修了式を迎えたいと思っております。保護者の皆様をはじめ地域の皆様、1年間ご協力をいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2月の生活発表会にご参観いただき、ありがとうございました。皆様からいただきましたアンケートは100%の回答率でした。一部をご紹介します。

- ・少人数ならではの温かい雰囲気、自分のクラスの発表の際に前列へ席替えしていただけたため、子供の表情や頑張りを間近でみることができ、とてもありがたかった。
- ・ゆり組すみれ組交互の順番だったので、全員の緊張感が途切れずよかった。
- ・子供の成長をたくさん感じられる発表会だった。どの子もやらされているのではなく、楽しんでやっている様子がとても伝わってきた。劇は、子供たちのアイデアや先生方の細かな工夫がたくさんつまっており、素晴らしかった。
- ・ちょうどよい日程だった。全力でやっていたので次の日が休みでよかった。休日だともっとお父さんやおじいちゃんおばあちゃんも見にこられたのかと思った。

など様々なご意見を頂きました。アンケートのご意見を参考に、今後の教育活動を計画してまいります。

今月のねらい

<年少ゆり組>

- ・自分なりにめあてをもって遊び、友達との関係や学級のつながりを深める。
- ・学級のみなどと進級することへの期待をもち、生活に見通しをもったり意欲的に行動したりする。

<年長すみれ組>

- ・修了式に向けての活動や当番の引き継ぎなどを通して、修了への意識と就学への期待をもつ。
- ・友達と心のつながりを感じたり、生活を共にする喜びを味わったりしながら、学級の一体感をもち、最後の園生活を楽しむ。

園だよりや幼稚園での最近の様子をホームページにて配信しています。ご覧ください。



緑幼稚園 HP
QRコード